



「釜石応援ふるさと大使」の設置について

総務企画部総務課

- 〔目的〕 県外の釜石ゆかりの方々に、釜石の魅力を情報発信していただき、釜石のイメージアップを図るとともに、市の発展につながる情報の提供及び助言を得るため設置する。
- 〔委嘱〕 「釜石応援ふるさと大使設置要綱」に基づき、釜石応援ふるさと大使検討委員会において審議のうえ、本人の同意を得て市長が委嘱する。  
対象者は、芸能・芸術・文化・スポーツ・産業・行政等の各分野で活躍している方とする。  
※今回、委嘱する方々は、裏面に記載の19名の方々とする。
- 〔役割〕 日頃の活動等を通じて、釜石の魅力を折に触れPRしていただくとともに、釜石のまちづくりに役立つ情報の提供や市政に関する意見・提言等をいただく。
- 〔任期〕 2年間とする。（ただし、再任を妨げない）
- 〔人数〕 定数等は、特に定めない。
- 〔報酬〕 報酬は支給せず、ボランティアとしての活動をお願いする。
- 〔情報提供等〕 大使の活動のため、PR用名刺及び各種情報を提供する。  
（名刺は年間200枚程度、その他広報かまいし、観光パンフレット等は随時供）  
また、年に1回程度、大使の方々との意見交換会等を開催する。
- 〔担当〕 市の担当窓口は総務課とし、関係課（総合政策課、広聴広報課及び観光交流課）と連携・協力する。



## 釜石応援ふるさと大使委嘱者名簿

(五十音順)

氏名	職業等
あんべ 光 俊	シンガーソングライター(釜石市出身)
阿 部 征 次	東京女子体育大学学長(釜石市出身)
池 田 肇	東京交響楽団首席オーボエ奏者(釜石市出身)
石 森 寛	文化女子大学教授・画家(釜石市出身)
大 島 輝 洋	「近代製鉄の父・大島高任」子孫
片 田 敏 孝	群馬大学大学院工学研究科教授・釜石市の津波防災に長年携わる
金 山 亜希雄	釜石はまゆり会会長・元釜石製鐵所長
きくち 教 児	タレント・中京テレビ「おめざめワイド」キャスター(釜石市出身)
小 島 良 平	デザイナー・日本グラフィックデザイナー協会理事(釜石市出身)
佐々木 貴 範	写真家・「釜石橋上市場-追憶の光景」等出版(釜石市出身)
柴 孝 也	東京慈恵会医科大学客員教授・(株)東京ドーム産業医(釜石市出身)
鈴 木 秀 幸	東海市議会議員・名古屋製鐵所総務グループマネジャー(釜石市出身)
瀬 川 爾 朗	岩手県人連合会会長・東京海洋大学客員教授(釜石市出身)
多 田 健 芳	千葉市立花園中学校教師・釜石を題材に社会科授業実践(中学まで在住)
原 口 あゆみ	声楽家・彩の国下総皖一童謡音楽賞受賞・全埼玉私立幼稚園連合会特別講師(釜石市出身)
松 尾 雄 治	成城大学ラグビー部監督、元新日鐵釜石ラグビー部監督
三 浦 俊 也	コンサドーレ札幌監督(釜石市出身)
森 重 隆	福岡市教育委員・福岡高校ラグビー部監督、元新日鐵釜石ラグビー部監督
山 田 久 志	CBC プロ野球解説者・日刊スポーツ野球評論家、元富士製鐵釜石野球部投手

## 委嘱状交付式

平成20年11月7日(金)午後6時から、東京ガーデンパレスで開催される「釜石はまゆり会の集い」に先立ち、午後5時30分から同3階「桂」において委嘱状交付式を開催予定。

釜石応援ふるさと大使の皆さんは、そのまま「釜石はまゆり会の集い」にご出席をいただき、参加者の皆さんにも紹介する予定。